

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	カメレオン春日		
○保護者評価実施期間	令和8年5月2日		～ 令和8年5月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	令和8年5月2日		～ 令和8年5月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年5月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	5領域に沿ったプログラム内容と、カメレオンの6つのコンセプト(暮らし・コミュニケーション・想像・就労・命・守る)を意識した支援の提供を行っている。	・日々の集団療育や休日の活動の際、めあてや目標を明瞭化し職員間で共有することで、それぞれが目的意識を持って支援にあたることができるようにしている。	・活動導入時のデジタル化や職員間での周知の徹底・認識の統一化を図ることで、より質の高い療育を目指します。
2	子どもの主体性や意思決定を尊重した支援を行っている	・日々の集団療育では、子ども主体で取り組める内容を行ったり、選択肢の中から選び決めるような活動を組み込んで行っている。 ・休日の活動では、小集団での活動の際、役割分担を行うことでやるべきことを明らかにし主体性を育てている。 ・おやつを金額内での選択制にすることで、選ぶ場面を日常的に設定している。	・今後も子どもたちの「やってみよう」や「好き」に耳を傾け、尊重した支援を行ってまいります。
3	ご家族参加型イベントを行っている。	・毎年「カメレオンカフェ」という名目で、ご家族参加型イベントを行っている。 模擬的に職場体験を行いながら、実際に子どもたちが頑張っている姿を見てもらい、また、保護者同士の交流の場としての役割も果たしている。	・恒例イベントとして定着させながら、保護者会も継続して行ってまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	安全計画や各種マニュアルを策定してはいるものの、保護者や職員に対して十分な周知が出来ていない点がある。	・マニュアルが複数存在し、周知・確認の機会が十分に確保できていなかったことが要因	・共有方法の見直しを行い、定期的に確認する機会や周知の徹底を図ります。 ・保護者会等で説明する機会を設けてまいります。
2	職員ごとの経験値や、保護者との関わり方における表現・伝達に差がある。	・職員ごとの経験や強みに違いがある ・情報共有や認識の統一が不十分	・事業所内での研修をより充実させていくと共に、外部研修への参加を積極的に行っていきます。また、日々の支援の中でも、フォロー体制を強化し、共通理解を深めたり、職員の対応能力向上に取り組んでまいります。
3			